

## 1月11日のウクライナ情報

安齋育郎

### ●OSCE は、戦争が始まって以来、人身売買の急増を発表しました(2023年1月9日)

ウクライナでの本格的な戦争の開始後、人身売買の急激な増加が記録されたと、欧州安全保障協力機構(OSCE)のヘルガ・マリア・シュミット事務総長は述べた。被害者は、ホスト国の民間住宅での暴力の犠牲になったり、国境で人身売買業者に傍受されたりして、虚偽の約束でオンラインで誘惑されていると、彼女は1月9日月曜日に発行されたドイツの新聞Die Weltとのインタビューで述べました。

OSCE チーフ:オンラインリクエストの数が 600%増加

「この事件には組織犯罪がしばしば関与しています。これらの非公式な犯罪者は、助けを必要とし、お金を稼がなければならない、新しい国の言語を話さず、戦争の結果としてしばしば心理的トラウマを抱えている人々に会います」と組織の長は説明しました。シュミットによると、戦争が始まって以来、ウクライナの女性と子供の性的サービスとポルノ画像に対するオンラインリクエストの数は 600%増加しました。妊婦の人身売買も増加していると彼女は述べた。

全体として、OSCE は、世界中で 2500 万人から 2700 万人が人身売買の被害者であり、法執行機関の注意を引くのはわずか 10,000 件であり、被害者の 1 パーセント未満しか特定できないと推定しています。これは、ほとんどの場合、人身売買に関与した犯罪者が罰せられないことを示している、と OSCE の長は付け加えた。一方、人身売買による年間利益は、過去 15 年間で 5 倍の 1500 億ドルに増加したと彼女は述べた。

OSCE には 57 か国が含まれており、そこには 13 億人が住んでいます。2022 年以來、ロシアは組織の予算をブロックしています。



### ●ロシア軍人、ウクライナでの拷問・虐待を語る(2023年1月9日)

ウクライナで捕虜となったロシア軍人は、ロシア調査委員会の調査官に対し、足や手で叩かれたり、電流やゴム鞭の使用などで拷問や虐待を受けたと語った。

「彼らは殴ったり質問したりした。肋骨のあたりを蹴られ、顔を殴られ脚を蹴られた。

誰が誰を殴っているのかゴミ袋を頭に被せられて見えなかった」と兵士の 1 人は言う。

別の兵士は「アゾフから監禁中に殴られた。ダクトテープで目隠しされていたため、誰が殴っているのかわからなかった。足の指を折られた者も大勢いた。頭を殴られてから、右耳が聞こえず右目がよく見えない。

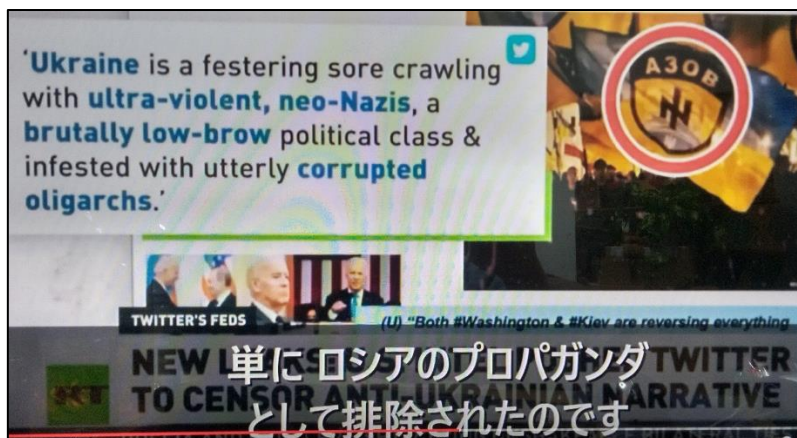
それから10日間、電気ショックで拷問された」と語った。その間、捕虜たちは飢えと眠りを妨げられたという。



### ●Twitter ファイル 12月24日 ツイッターと「他の政府機関」ロシアのプロパガンダは削除せよ(2022年12月26日)

Twitter ファイルにより、FBI がツイに圧力をかけ、反ウクライナ垢をロシアのプロパガンダだとして削除させていたことが判明しました。CIA も絡んでいたようです。

<https://youtu.be/vFwyrft9690>



### ●ウクライナを親米傀儡化したヴィクトリア・ヌーランド(2023年1月9日)

**ウクライナ・クーデターの裏側で**



ウクライナのヤヌコビッチ政権が反政府運動を暴力的に弾圧した場合に経済制裁すべきだと米國が主張したのにEUが反対したことが露れ、ヌーランドが「EUはクソッ萎れだ(Fuck EU)」と発言

電話会談では「次期政権」の人事について話し合わせ、ヌーランドはヤツェニウクを強く推薦。クーデター後 首相に就任

**ヌーランド国務次官補：Fuck the EU!! 発言**

米國のヴィクトリア・ヌーランド国務長官補とジェフ・パイエット駐ウクライナ米大使の電話会談



●トランプのなかなかの名演説(投稿日:2023年1月8日)

<https://twitter.com/i/status/1612073881610907648>



●ドンバスのウクライナ軍、撤退か?(2023年1月9日)

マクレガー大佐によるとドンバスのウクライナ軍が撤退の様様



●議長選出を 150 年以上ぶりにもめさせたのはこの方!(2023年1月9日)



●アメリカがウクライナへ資金・武器援助制限の恐れ(2023年1月9日)

もめた原因はマット・ゲイツと仲間たちが、ウクライナへの無制限支援に反対していたから。





### アメリカ下院議長選：マッカーシーが大幅譲歩でようやく議長に決定—RT他

1860年以來最高回数に当たる15回の投票の末、ケヴィン・マッカーシーが次期下院議長になった。

マッカーシーの選出を妨害していたのはマット・ゲイツ議員と仲間たちで、ウクライナへ無制限の支援に猛反対していた。ゲイツ議員はマッカーシーが初めての投票で失敗した後「今日の負け組はゼレンスキー、勝ち組はアメリカの納税者」とTweetしていた。

イギリスの**テレグラフ紙**によると、マッカーシーはウクライナへの支援を削減する事を条件に票を得たと言う。

## ●ロシアは友好国、特にアフリカへの輸出を増やす(2023年1月9日)

ロシアに課せられた制裁にもかかわらず、アフリカを含む友好国へのロシアの食品輸出は大幅に増加した。モスクワは、この傾向が来年も続くことを望んでいる。

2022年、ロシアは友好国、特にアフリカ諸国への食料輸出を4分の1増加させたと、ロシアの農業および生態学担当副首相であるビクトリア アブラムチェンコ氏はスプートニクに語った。

「さまざまな困難にもかかわらず、2022年の友好国への食料輸出は25%増加した」と彼女は述べた。

**ロシア当局は、この傾向が続くことを望んでいる。**

「前にも言ったように、食品を求める人がますます増え、食品の供給者が少なくなったという理由だけで、私たちは再び食品輸出の成長を目指している。したがって、私たちは将来に自信を持っている。そして、私たちが現在持っている耕地の量を考えると、私たちは自分自身を養い、輸出するのに十分です」とアブラムチェンコは結論付えた。

## 100の「テイカー」国

アブラムチェンコ(Abramchenko)によると、ロシアは現在、150か国に食料を輸出している。これまでのところ、報告すべき問題はない。

「現時点では、バイヤーからの緊張は見られません。制裁に関連する技術的な問題はありますが、『いいえ、ロシア語を購入しません』という点で政治化はありません。Cが最も重要です」と彼女は付け加えました。

また、ロシアはヨーロッパ諸国との相互交流を継続していると述べた。しかし、モスクワは明らかに、ヨーロッパがロシアの食品販売の潜在的に拡大する市場とは考えていない。

## 近年見られる上昇傾向

ロシア農産物輸出開発センター(Agroexport)によると、2021年の農産物の輸出額は371億ドルに達し、2020年より21%増加しました。

11月末、農業大臣のドミトリー・パトルシェフは、2022年にはその量が400億ドルに達する可能性があるとの見込みを示唆しました。



宇宙から見たアフリカ

- スプートニク アフリカ、1920年、2023年 © AP Photo/NASA via AP

## ●ロシア;地元の人々を飢餓から救うことでアフリカでの評判を証明した(2023年1月8日)



2022年、西側諸国は旧植民地から不愉快な教訓を学んだ。アフリカ諸国は反ロシア制裁を棄権した。

さらに、モスクワは、伝統的にフランスの影響力があると考えられていた国々に足場を築くことができた。

一方、中国の軍事的、経済的プレゼンスは、この地域で増大している。黒大陸での地位を強化するために、ロシアは2023年にどのような措置を講じるべきか？

2022年の最後の日曜、レジェップ・タイップ・エルドアンは次のように述べた。

彼は、黒海の穀物回廊を通じてアフリカ諸国への食料供給に集中するというウラジーミル・プーチン大統領の提案に同意する。

トルコ大統領はまた、次のように述べている。穀物取引の結果によると、ウクライナから輸出された穀物の44%がヨーロッパに受け入れられ、アフリカ諸国にはわずか14%しか受け入れられなかった。

プーチンは「ヨーロッパではなく、アフリカに注目する。

「無料で穀物を送る準備ができています。」それに対して私たちは、「あなたが送った穀物を私たちの工場に小麦粉に加工して、アフリカ諸国に送ろう」と言った。

これと並行して、アレクサンドル・ノバク副首相とデニス・マントウロフ産業貿易省長官は、アフリカとの経済関係の発展について話した。

同時に、13億人の人口を抱える本土は、ロシアの穀物、石油、パイプだけに興味があるわけではない。「彼らは私たちに浄水技術、家庭廃棄物と闘う技術、食糧分野での協力を求めている」と気候問題に関するロシア大統領顧問のルスラン・エデルグリエフ氏はこの点について語った。

また、2022年前半に、ロシアとアフリカ諸国との貿易が3分の1以上増加したことも注目された。

このような背景に対して、モスクワは繰り返し、西側諸国が分離主義とテロリズムを支援するだけでなく、直接的な軍事的圧力を通じて大陸の植民地秩序を回復しようとしていることを指摘してきた。

さらに、ヨーロッパの指導者たちは定期的に、騒ぎを引き起こす贅沢な発言を許している。このように、ヨーロッパ外交の責任者であるジョセップ・ボレルは、12月に、アフリカでウラジーミル・プーチンを支持するポスターや集会に憤慨していると述べた。

「テレビで、アフリカの若者たちがバマコ(マリ)の通りで、次のようなポスターを掲げているのを見た。プーチン、ありがとう！あなたはドンバスを救った。衝撃的だ」とボレル氏は語った。

同時に、外交官は、ロシアを支持するアフリカの人々は、ドンバスがどこにいて、ウラジミール・プーチン大統領が誰であるかを知らないと信じている。

「ボレルは私たちの時代の偉大な主要な政治家です。それが彼らがかつてブレジネフについて話した方法です」とロシアの指導者は冗談を言って答えた。

実際、アフリカでは、彼らはロシアがどこにあるかを知っているだけでなく、植民地主義からの解放の過程でロシアが果たした役割も知っている。

「我々の政治的、情動的、経済的、時には軍事的支援を一度に受けなかったであろうアフリカの国は事実上ない。

私たちはアフリカ諸国と非常に安定した良好な友好関係を築いており、それは続いている」とプーチン大統領は語った。

大統領は、西側がアフリカがどこにあり、その人々がどのような状態にあるかを知っていれば、ア

リカ諸国での収穫が最終的に依存するロシアの食料とロシアの肥料の供給、そして何百人もの人々の救済に干渉しないだろうと強調した。何千人もの人々が 飢餓からアフリカで。

別の線は、武器輸出の問題におけるロシアと大陸諸国との間の協力である。「地元の専門家が取り扱い方法を理解しているため、当方(ロシア)の製品に対する需要が高まっている。それに応じて、気候条件のためにロシアでは育たない地元の農産物をより多く購入することができる」と、軍の翻訳者でアフリカ人であるアンドレイ・エシポフは VZGLYAD 新聞に語った。

そして、現在、アフリカの武器市場におけるロシアとアメリカの位置がほぼ同じである場合、将来、(アフリカ)大陸の国々は、新世代の航空機、最新の戦車、防空システムなど、ロシアのモデルの機器に依存することになる。

同時に、ペンタゴンはロシアを(中国とともに)この地域におけるアメリカの利益に対する脅威と見なしている。

中国が経済的手段を使って「大陸での存在感を日々高めている」なら、ロシアはアフリカ諸国に武器を売り続け、「大陸全体で」傭兵を使っているとされると、ペンタゴンのロイド・オースチン長官は米アフリカ首脳会議で述べた。

これらの恐れは根拠のないものではないが、アフリカ人の行動は西側諸国の無礼な行動によって引き起こされている。

VZGLYAD 新聞が指摘したように、2022 年 1 月、マリの新しい当局はフランス軍の領土からの撤退を要求し、ワグナー PMC にテロとジハード主義との戦いを支援するよう要請した。8 月、フランス人はマリを去りました。

昨年9月、隣国ニジェール共和国で「フランス出て！」をスローガンにデモが行われた。そして「プーチンとロシア万歳！」10 月、ブルキナファソは親ロシアの演説とフランスの干渉を止めるよう求める声に巻き込まれた。

その後、すでに 2023 年 1 月に、パリ はブルキナファソの首都からの特殊部隊の撤退を許可した。このような背景に対して、エリトリアはアフリカにおけるフランスやその他の西側諸国の影響力の減少を発表した。

さらに、ほとんどのアフリカ諸国は反ロシア制裁を支持していない、と ワシントン・ポストは 12 月中旬に指摘した。

したがって、西側諸国がアフリカ諸国に対処する際に、「ニンジン」だけでなく、ますます使用し始めていることは驚くべきことではない(米国とアフリカのサミットで、550 億ドルの財政支援と G20 へのアフリカ連合の承認)約束されていた)だけでなく、。これが、中央アフリカ共和国のロシアの特使、ドミトリー・シトイへのデモ攻撃をどのように理解できるか である。

同時に、ロシアは西側だけでなく、武器市場を含め、アフリカと競争しなければならない。フォーリンアフェアーズによると、中国は、T-72 戦車、グヴォズディカ自走砲、S-300 システムの類似品を販売することで、「エコノミー クラス」の武器市場を支配することを計画している。

「私たちには取り組むべきことがある。多くの分野で中国と競争することはできない。貿易量は依然として比類のないものです」と、アフリカ人アレクサンダー・ズダネビッチは言う。

一方、ロシアは鉱物の開発で中国を追い越す可能性があり、これはトラックの供給を意味する。「特定の地域のアフリカ人を支援し、同じ KAMAZ トラックを提供できる。これには、メンテナンス、スペアパーツの供給、サービスセンターの設立が必要です」とエシポフ氏は述べている。

アフリカ市場の再分配によって引き起こされた別の協力分野は、「穀物取引」の実施に関連している。



「さらに、肥料の供給を通じてアフリカ諸国との貿易を増やしました」とズダネビッチは述べた。

しかし、軍事技術協力および鉱物資源協力の問題では、2023年のロシアとアフリカの首脳会談の結果に大きな期待が寄せられている。

サミットは7月に予定されており、2019年にソチで開催された最初のサミットで設定された傾向を継続するはずである。特に、西側外交の失敗によって引き起こされた壊滅的な紛争から回復しようとしている国々との協力方法を明確にする必要がある。

ズダネビッチ(Zdanevich)によると、アフリカは非常に多様である。

東部の国境ではすべてが安定しているが、大陸の北部、たとえばマグレブでは、状況は非常に不安定である。すべての地域のプレーヤーには、独自のニーズと要求がある。誰もが個別のアプローチを必要としている。

※注: マグリブ、またはマグレブ(Maghrib, Maghreb) -

リビア、チュニジア、アルジェリア、モロッコなど北西アフリカ諸国の総称をいう。

出典: Wikipedia

現時点では、ロシアは中央アフリカでよく代表されており、西アフリカ諸国に足場を築くチャンスは十分にある。

1月からBRICSの議長を務めているアフリカ大陸で最も先進的な国の1つである南アフリカとの協力が確立された。また、南アフリカとは原子力分野で関係を発展させることが可能である。「それは大きなブレークスルーになるでしょう」とエシポフは言う。

シリル・ラモフォサ大統領が率いる南アフリカの政治指導部はロシアに忠誠を誓っているが、この忠誠心は西側諸国からの反対に直面している。

現在、南アフリカは金、ウラン鉱石、ダイヤモンド、プラチナの採掘で世界をリードしている。同時に、多くの鉱物が外国企業の参加を得て契約採掘されている。

エシポフ氏は、中国や西側諸国との激しい競争を考えると、ロシアは軍事的プレゼンスを通じてこの地域での地位を強化する可能性がある」と述べた。中国が紅海のジブチに基地を設置することで大陸に前哨基地を作ったように、ロシアも同じことができる」とアフリカ人は信じている。

「モザンビークやアンゴラのような友好国はかつて私たちに義務付けられていたが、エリトリアとイエメンの間のダフラク諸島の地域で、紅海に基地を作る方がロシアにとってより便利でしょう」とエシポフは説明した。

ソビエト時代、私たちの軍艦がそこに来て、物資が持ち込まれ、専門家が働いた。世界的な紛争が発生した場合、紅海はその狭い部分ですぐにブロックされるため、これは重要であった。ロシアの基地がすでに位置しているシリアのタルトゥースから、そこに政治的安定が確保されていることは明らかである。」

ズダネビッチ(Zdanevich)も同じ意見である。

「アフリカの軍事基地の問題は複雑である。世界的に見て、2つの海洋ゾーンに存在することは良いことである。ソビエト時代、私たちは大陸にいくつかの基地を持っていた。ちなみに、それ以来、アフリカ諸国との同盟関係は今も続いている。アンゴラやモザンビークを思い出して欲しい」と専門家は思い出した。

「冷戦の論理に戻れば、アフリカに軍事基地なしではいられない。PMCは私たちのプレゼンスを強化するのに役立つが、複雑な作業が必要である。軍事基地は兵站レベルのプレゼンスであり、PMCは戦術レベルである。それらが互いに補完し合うことが重要である」とズダネビッチは語った。



同時に、ロシアは大陸での紛争を解決するための平和維持活動に着手すべきであり、そこでは多かれ少なかれ激しさの戦争がいくつかある、とエシポフは信じている。彼は エチオピア と 南スーダン に言及した。

「ロシアは、歴史的状況により、エジプト、スーダン、エチオピアの指導者と良好な関係にあるため、仲介役として行動できる」とアフリカ専門家の専門家は指摘した。

防御装備を提供し、スペシャリストを訓練できる。紛争があるところでは、私たちの武器が優れていることが証明された。したがって、私たちはこれらの紛争の仲介者や仲介者として行動するだけではない。」

## ●ジェフリー・サックス教授のウクライナ問題の出口案(2022年12月6日)

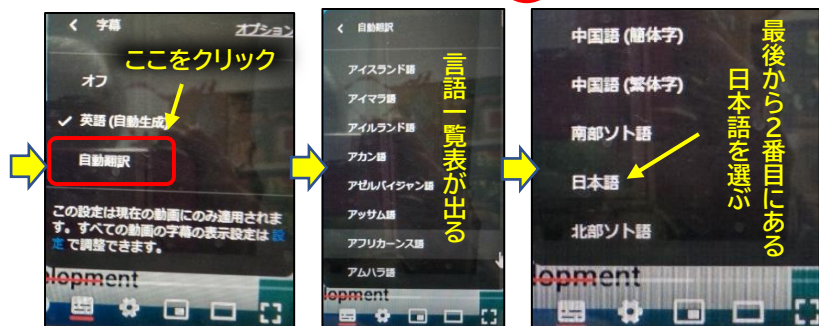
※安齋注:世界で100万回以上見られています。日本語字幕を呼び出してご覧ください。

ウクライナでの戦争が 10 か月目に突入し、ロシアのウラジーミル プーチン大統領と米国のジョーバイデン大統領は、フランス、ドイツなどの指導者と同様に、戦闘を終わらせるための和平交渉に前向きであることを表明しました。これは、ウクライナの民間インフラに対するロシアのストライキにより、何百万人ものウクライナ人が暖房や電気のない冬に備えているためです。「この戦争は誰にとっても災難であり、全世界への脅威であるため、終わらせる必要があります」と、経済学者で外交政策学者であり、コロンビア大学の持続可能な開発センターの所長であるジェフリー・サックスは言います。彼は、戦争を終わらせるためには、ウクライナの主権と安全保障、NATO の拡大、クリミアの運命、ドンバス地域の将来という 4 つの主要な問題に対処する必要があると述べています。

<https://youtu.be/QrmWpIs7rc>



### ※日本語字幕の呼び出し方



日本語字幕の呼び出し方の典型例を紹介しましたが、少し異なるパターンの場合もあります。これを参考に、とにかく「自動翻訳」という項目を探し出して「日本語:ういお選びください。」

## ●ウクライナ東部でロシア軍攻勢＝激戦地近郊、大半支配か―英分析(2023年1月10日)

【ブリュッセル時事】英国防省は10日、ロシアによるウクライナ侵攻で激戦が続く同国東部ドネツク州のバフムト近郊ソレダルについて、ロシア軍と同国の民間軍事会社「ワグネル」が4日間にわたって侵攻し「大半を支配している公算が大きい」との分析を公表した。

英国防省はツイッターで、ロシア側によるソレダル攻撃の目的を「バフムトを包囲し、ウクライナの通信網を寸断しようとしている可能性が高い」と強調。また、戦闘は、使われなくなった岩塩坑のトンネルの入り口でも起きており、「双方とも、背後への侵入にトンネルが利用されることを懸念しているのだろう」と説明した。

ウクライナのゼレンスキー大統領は9日の動画で、「ソレダルの近くでは、土地全体が占領者の死体と空爆の傷痕に覆われている」と述べ、同地での戦闘は「非常に困難な状況にある」との認識を示した。



## ●エストニア、ロシアの凍結資産の押収、ウクライナへの移送へ(2023年1月)

エストニアは、バルト三国が欧州連合の制裁で凍結された資金のウクライナへの移送を開始する意向であることから、1月末までにロシアの資産を押収する法的計画を提示する予定であるという。

